




ドーマーの入力方法①（ドーマーの窓部を配置）



文書管理番号：1252-01

Q. 質問

3Dパースでドーマーを表現したい。

A. 回答

3Dパースでドーマーを表現するには、 (屋根伏図)で (屋根面)を入力する方法と、 (屋根部品)を配置する方法があります。

ここでは、 (屋根伏図)で (屋根面)を入力する方法を説明します。





* ここでのドーマーの入力方法は、外観表現を目的としています。

屋根部品を利用して表現する方法については、[こちら](#)をご覧ください。

[\[1243\] ドーマーの入力方法（部品を利用して表現する場合）](#)

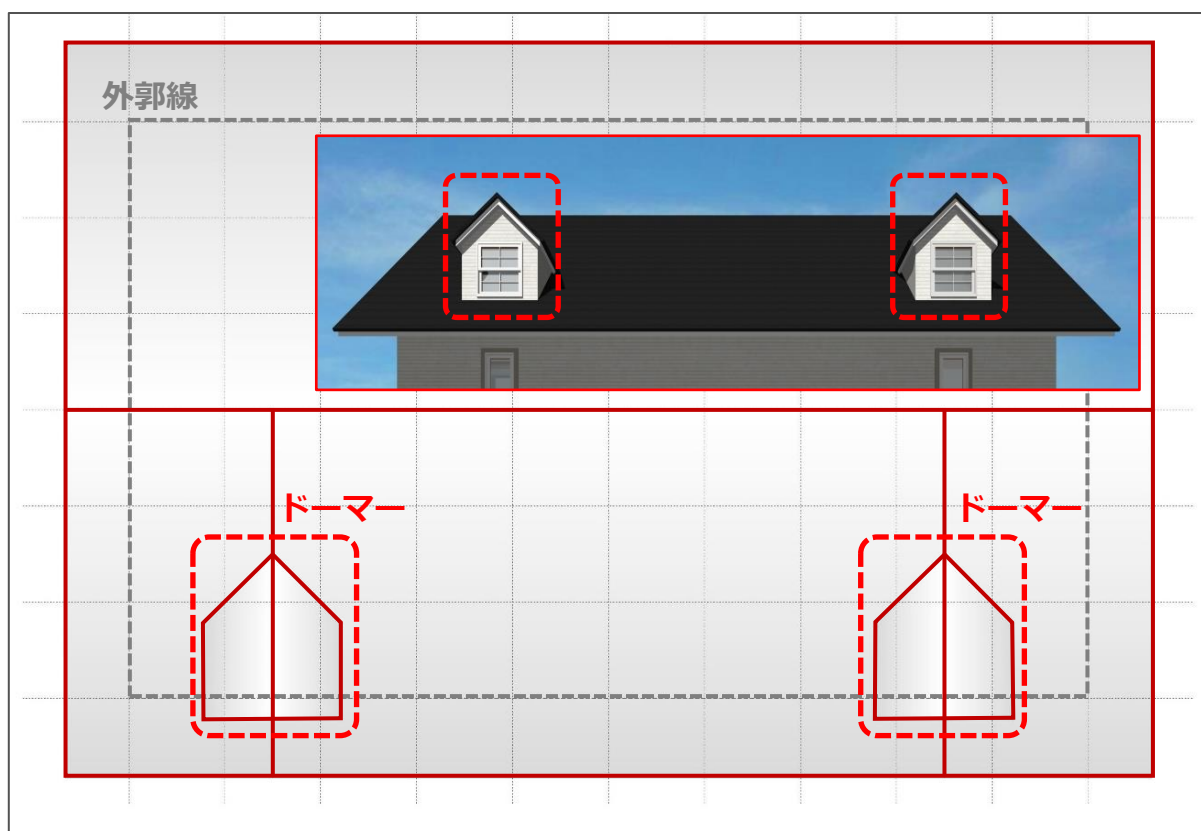
操作手順

 (屋根伏図)で  (屋根面)を入力し、ドーマーを配置する方法は、次のような手順になります。

- (1) プラン図でドーマーの窓部を配置する
- (2) 屋根伏図でドーマーの屋根部を配置する
- (3) 屋根伏図でドーマーの壁部を設定する

ここでは、上記「(1) プラン図でドーマーの窓部を配置する」方法を説明します。

以下のようなドーマーを入力します。



上記「(2) 屋根伏図でドーマーの屋根部を配置する」方法は、こちらをご覧ください。

[\[1253\] ドーマーの入力方法② \(ドーマーの屋根部を配置\)](#)

上記「(3) 屋根伏図でドーマーの壁部を設定する」方法は、こちらをご覧ください。

[\[1254\] ドーマーの入力方法③ \(ドーマーの壁部を設定\)](#)

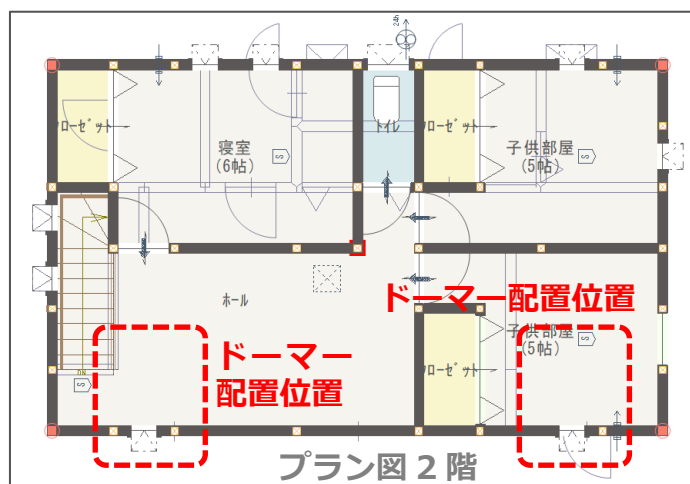
プラン図でドーマーの窓部を配置する

ドーマーの窓部を配置するには、 (プラン図)で小屋裏の階層に区画を作成し、建具を配置します。

(メインメニュー)または (クイックメニュー)から (物件概要)を起動します。ここでは、階層を「2階+小屋裏」に設定し、小屋裏の階層を有効にします。

小屋裏階に、ドーマーの区画と窓部を配置します。

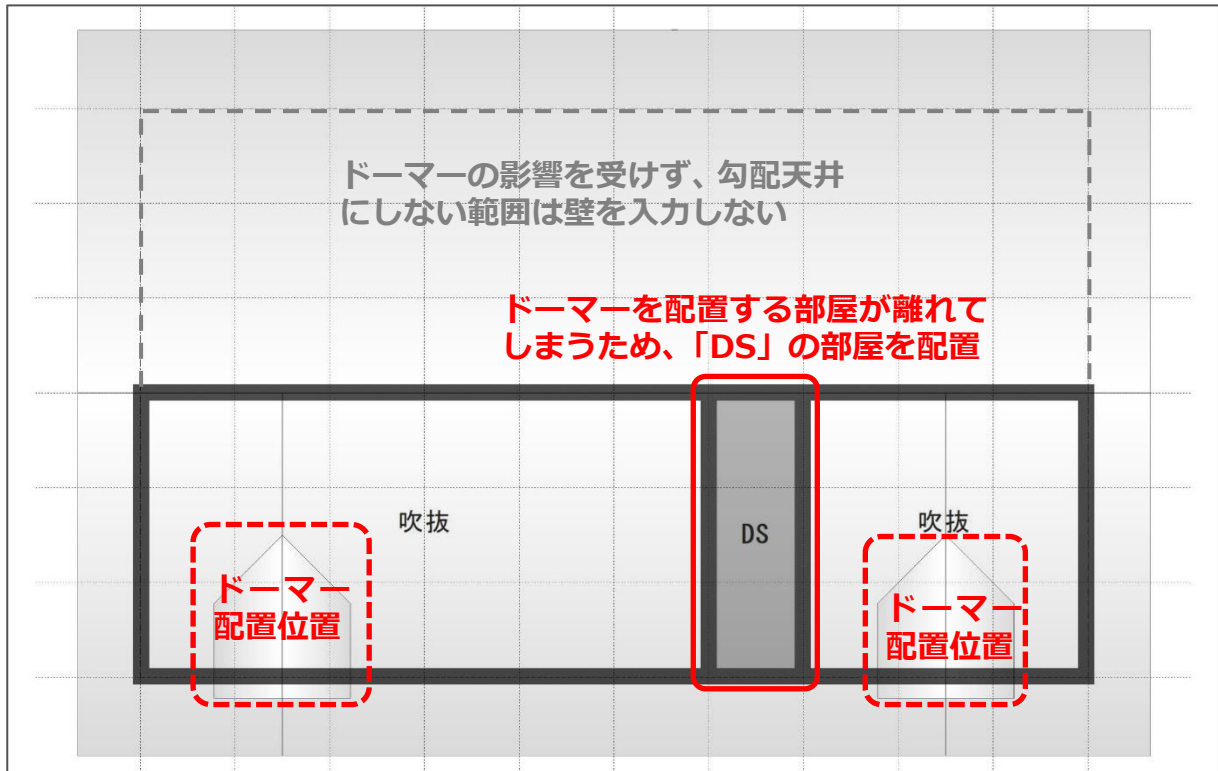
ここでは、ドーマーを配置する部屋は「ホール」とその隣にある「子供部屋」とします。小屋裏階で、2階のホール・子供部屋の壁に沿って壁を入力し、区画とドーマーの窓部を配置します。



- ① (プラン図)で、階層ボタンの▲(上階選択)をクリックし、「小屋裏」を表示

② 下階の壁の位置を参考に、全壁で区画を分け、部屋名を設定

- * ここでは、ドーマーを配置する2階の部屋の壁に沿って全壁を配置し、部屋名を「吹抜」に設定します。
- * ドーマーを配置する区画が離れてしまう場合は、区画同士をつなぐために「DS」の部屋を配置します。部屋が離れない場合は、壁の入力のみとし、部屋名を配置しなくてもかまいません。

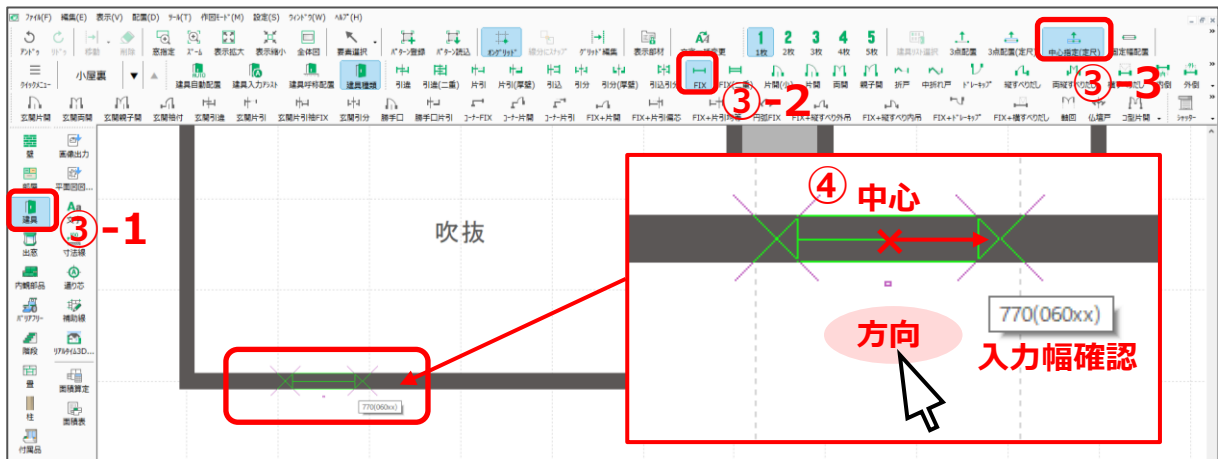


- * ドーマーの位置を確認するため、小屋裏階と屋根伏図を重ねて表現しています。

③ (建具)の (FIX)をクリックし、 (中心指定(定尺))をクリック

④ ドーマーの窓部の中心をクリックし、入力する建具幅の位置でクリック後、外側をクリック

- * ここでは、入力幅「770」mmのFIXを配置します。

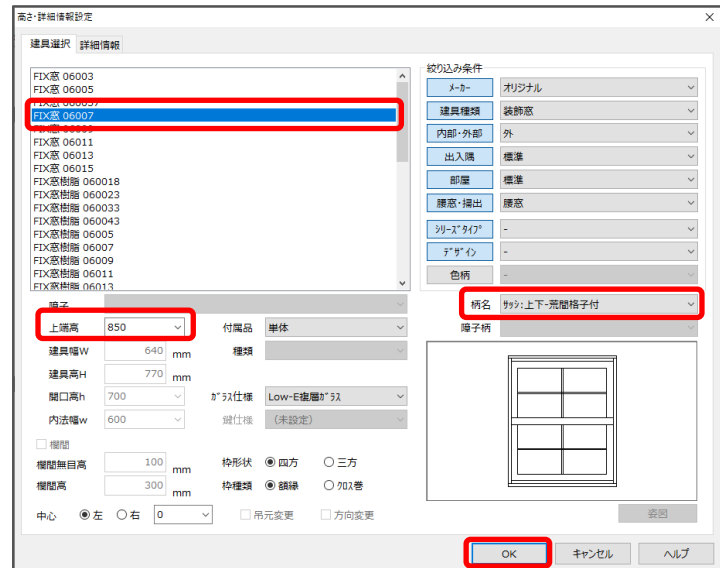


- ⑤ 入力した建具を (要素選択) でダブルクリック
- * 高さ・詳細情報設定の画面が表示されます。
 - * 入力した建具を選択後、右クリック⇒「高さ設定」から選択してもかまいません。

- ⑥ 建具の上端高や建具高、柄名を設定し、「OK」をクリック

* ここでは、建具部材指定を使用して建具を入力し、次のとおりに設定します。

- ・ 建具種類「FIX 窓 06007」
- ・ 上端高「850」mm
- ・ 柄名「サッシ:上下-荒間格子付」



- ⑦ 操作③～⑥を繰り返し、ドーマーの窓部をもう1か所配置

* ドーマーの窓部の配置は完了です。
次は、屋根伏図でドーマーの屋根部を配置します。
詳しい操作手順は、こちらをご覧ください。

[\[1253\] ドーマーの入力方法② \(ドーマーの屋根部を配置\)](#)